



| | |
|----------------|-----------------------------|
| [審査証明番号/有効期限] | BCJ-審査証明-257/2023年9月26日 |
| [技術の名称] | 改質アスファルト防水常温複合工法「アスレイヤ水性工法」 |
| [依頼者(審査証明取得者)] | 田島ルーフィング株式会社 |

〔技術概要〕

アスレイヤ水性工法は、従来のアスファルト防水熱工法の長所である水密性や信頼性を有している。一方で、短所である溶融アスファルトの煙の問題や裸火の使用による火災の懸念を払拭し作業環境に配慮した技術を有する。

当該工法は、エマルジョン系改質アスファルトと、反応成分を含む硬化剤を攪拌して使用する2液反応タイプの塗膜材であるレイヤコート水性和、改質アスファルトと特殊な基材との組み合わせにより、強靱で柔軟性に優れた性能を有するレイヤソフトの組み合わせを基本とした常温複合防水工法である。

なお、レイヤコート水性は2液反応タイプの塗膜材で、安定した反応硬化性と各種物性を示す。

〔開発の趣旨〕

在来のアスファルト防水熱工法は、アスファルト系ルーフィングと防水工事用アスファルトとの積層工法により防水信頼性は高いが、大型溶解釜装置の搬入が必要であり、また裸火を使用するため火災の懸念や溶融アスファルトからの煙・臭気等の作業環境影響も指摘されている。

アスレイヤ水性工法は、これらの点を考慮し、以下を目的として開発した。

- ・2液反応硬化タイプのエマルジョン系改質アスファルト塗膜材を使用することで、在来工法と同等の性能を維持したまま施工工程を簡略化し、臭気の発生を低減により、作業環境の改善と近隣環境負荷の軽減を実現する。

- ・アスファルトを溶解するための燃料を使用しないことにより、施工時の二酸化炭素発生量を低減する。

- ・主要材料に水性材料を使用することにより、環境対策が特に要求される内部防水工事や近隣密集地域での防水工事における施工可能条件をより広範に満たす。

〔開発目標および審査証明結果〕

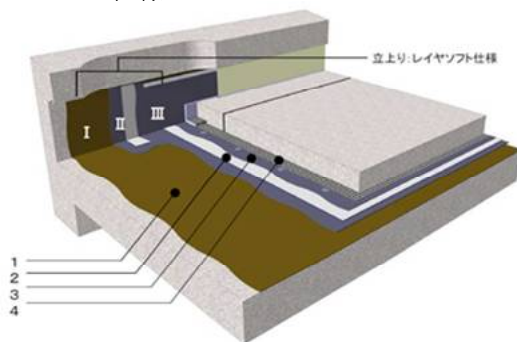
本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 在来のアスファルト防水熱工法と比較して、簡易な工程で同等の性能を有すると判断される。
- (2) 加熱溶融アスファルトを使用しないことにより、在来のアスファルト防水熱工法と比較して環境負荷の軽減を図ることができると判断される。

〔本技術の問い合わせ先〕

田島ルーフィング(株) 営業企画部テクノサービス課
TEL 03-6837-8880

■PAE-1M仕様



平面部

| | |
|---|------------------------------|
| 1 | 水性プライマーC (5倍液) |
| 2 | レイヤソフト (レイヤコート水性・塗布貼付) |
| 3 | レイヤコート水性 |
| 4 | 絶縁クロス 1000 (レイヤコート水性・点貼り) |

立上り部

| | |
|-----|--------------------------------------|
| I | 水性プライマーC (5倍液) |
| II | レイヤソフト (レイヤコート水性 立上り用配合 ・塗布貼付) |
| III | レイヤコート水性 立上り用配合 |